

英で設備破壊騒動も



第5世代(5G)移动通信システムが新型コロナウイルスを拡散させている。こうした投稿がインターネット上で世界中に広がり、英国では携帯電話用設備が

「5G元凶」デマ 国境を越え拡散

「電波を通してウイルスを飛ばす」とさまざまなデマ、フラクトチェック(事実検証)を行う各国組織は「デマ」と判定。国際非電離放射線防護委員会も5Gが健

康被害を及ぼすとの「根拠はない」としている。拡散の経緯を調べた米誌ワイアード電子版によると、発端は1月下旬にベルギーの新聞が掲載した地元

医師の発言。感染拡大の震源地となった中国武漢の周辺に敷設された5Gとウイルスに「検証していないが、因果関係があるかも」との一言は数時間後にはネットから削除されたが、5Gが危険だと主張してきた反対派の間で瞬時に共有された。

一部のグループにとどまるはずの陰謀説もウイルスに関連したハッシュタグ(検索目印)と拡散。さらに米俳優ら著名人がツイートしたことで誤情報の爆発的増加につながった。名古屋大学院の笹原和俊(ささはら・かずとし)講師(計算社会科学)は「ウイルスに関する確かな情報が不足する中、誰もがデマの増幅装置になる。感染拡大の不安を転嫁するスケープゴートを探す心理がこれを下支えしている」と指摘している。

2020年4月16日朝刊

①英国では、携帯電話用設備が破壊されました。この事件の背景には、どのようなデマがあったのでしょうか。

②このようなデマが広まった経緯を記事から探してみましょう。

③デマに惑わされないためにどのような力や態度をとればいいでしょう。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 塚本学(常葉大学附属常葉中学・高校 教諭)

(中学校～高校、保護者、教員/国語、社会、家庭・技術家庭、総合、生活)

英で設備破壊騒動も



第5世代(5G)移动通信システムが新型コロナウイルスを拡散させている。こうした投稿がインターネット上で世界中に広がり、英国では携帯電話用設備が

「5G元凶」デマ 国境を越え拡散

英国で「5Gを止めろ」と書かれた落書きの前を通り過ぎる人(ロイター共同)……
破壊されるなどの騒動に発展した。科学的な根拠がないデマがなぜ、国境を越えて流布したのだろうか。
5Gに絡む投稿は「免疫システムを弱体化させる」「電波を通してウイルスを飛ばす」とさまざまだが、ファクトチェック(事実検証)を行う各国組織は「デマ」と判定。国際非電離放射線防護委員会も5Gが健

医師の発言。感染拡大の震源地となった中国武漢の周辺に敷設された5Gとウイルスに「検証していないが、因果関係があるかも」との一言は数時間後にはネットから削除されたが、5Gが危険だと主張してきた反対派の間で瞬時に共有された。
一部のグループにとどまるはずの陰謀説もウイルスに関連したハッシュタグ(検索目印)と拡散。さらに米俳優らがツイートしたことで誤情報の爆発的增加につながった。
名古屋大学院の笹原和俊(ささはら・かずとし)講師(計算社会科学)は「ウイルスに関する確かな情報が不足する中、誰もがデマの増幅装置になる。感染拡大の不安を転嫁するスケープゴートを探す心理がこれを下支えしている」と指摘している。

2020年4月16日朝刊

①英国では、携帯電話用設備が破壊されました。この事件の背景には、どのようなデマがあったのでしょうか。

第5世代(5G)移动通信システムが新型コロナウイルスを拡散させているというデマ

②このようなデマが広まった経緯を記事から探してみましょう。

発端はベルギーの地元医師の発言。それが5Gが危険と主張してきた反対派の間で瞬時に共有された。ウイルスに関連したハッシュタグと拡散。さらに米俳優らがツイートして爆発的に増加した。

③デマに惑わされないためにどのような力や態度をとればいいでしょう。

(例)情報をうのみにせず、真偽を見抜く力をつける。自分で情報ソースを探す。など

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 塚本学(常葉大学附属常葉中学・高校 教諭)

(中学校～高校、保護者、教員/国語、社会、家庭・技術家庭、総合、生活)